

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年3月2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社いきいき舎	デイホームいきいき舎常盤平	通所介護事業所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護	マッスルスーツ every	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年12月21日	1台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 車椅子からベットへの移乗介護、入浴の際車いすからシャワーキャリーへの移乗介護の際に介護職員の腰への負担軽減の為にマッスルスーツを着用した。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 車いすのご利用者が多い夕方は、腰への疲労、腰痛の訴えが多かったが、導入後からは、徐々に軽減のつながっているように思える。また、腰への負担等を考えることがないため、丁寧なケアを実践できている。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 マッスルスーツ自体の重さがあり、ずっとは付けてられないので装着のタイミングが難しい。装着に時間がかかるため、慣れるまで面倒と感じる。 ある程度の期間、使用することで腰痛緩和効果を学ぶ必要性を感じる。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

②実績報告時に提出

令和3年3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社エルケア	ショートステイセンター エルケア	老人短期入所施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
②移乗介護	①イノフィス マッスルスーツ Every	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年1月12日	①2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
導入時から毎日使用しております。 主に、短期入所の方の、ベッドから車椅子へ、車いすから椅子へ、入浴の際の移乗に使っております。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
移乗の際の腰への負担が減りました。入浴時やオムツ交換時など連続作業でも、腰への負担が半減され、業務がスムーズになりました。		
【介護ロボットの不都合な点】		
怖がってしまうご利用者もいます。 慣れてない職員は、装着までに時間がかかるため、積極的に使おうとはしません。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

②実績報告時に提出

令和3年3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社エルケア	エル・デイサービス リハビリセンターときわ平	通所介護事業所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
②移乗介護	①イノフィス マッスルスーツ Every	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年1月12日	①2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
納入時に職員に使い方を説明していただき、導入時からほぼ毎日使用しております。 主に、入浴時のご利用者の移乗に使っております。 送迎車への移乗にも役立っております。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
近年、体格のいいご利用者が増えており、主に大柄な方を対象に使用しております。 腰への負担が少なく、女性職員に喜ばれております。 移乗の際の、応援駆け付けが少なくなり、業務がスムーズになりました。		
【介護ロボットの不都合な点】		
導入して間もないので、使いこなせる職員が少ないです。 慣れてない職員は、装着までに時間がかかるため、使いたがりません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 3月 15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 市原うぐいす会	特別養護老人ホーム 緑祐の郷	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介助	マッスルスーツ Every ソフトフィット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 1月 22日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  離床・臥床介助、入浴介助時に主として毎日使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  介護スタッフからは、「移乗介助時の腰への負担が減った」との意見が多く聞かれ、身体的負担の軽減が図れている。 腰痛で仕事を休んだり退職される方の減少にもつながり、長く働ける職場環境への整備にも繋がった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  太ももにパットを装着するので、移乗介助後に靴を履かせるためにしゃがむ動作や歩行などは、行いづらい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年2月26日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
特定非営利活動法人あい愛	あい愛クラブ	小規模多機能型居宅介護事業所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護	① マッスルスーツタイトフィット S-M ② マッスルスーツタイトフィット M-L	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 1月 6日	① 1台 ② 1台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 下肢の硬直が強いご利用者様の、排泄介助、入浴介助、ベッドからの移乗時、(週6回)体動困難なご利用者様の、排泄介助、ベッド上の体位交換、移乗時の介助(週7回)、また腰痛があるスタッフが介助を行う際に活用し、活用した際には業務日報に活用した旨を記載する。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 これまで、無理な体勢でご利用者様の身体を抱えたり、引き上げたりすることが多く、その為、腰に負担がかかり腰痛を生じる職員がいたが、マッスルスーツを着用して介助を行うことで、腰への負担が減少している。また、現在は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令により、宿泊サービスは中止としているが、複数のご利用者様を一人で介助を行う夜間帯の介助業務について、負担の軽減が図れることが期待できる。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 身体の高いスタッフ(体重100キロ超)の使用については、着用時に窮屈感がある。中腰からの動きについてはスムーズに行うことができるが、入浴の洗体時など、立ったり座ったり(膝を折り曲げて座る)する動きが多い場合は、動きにくい。		